

## 豊岡まちづくり推進協議会 会議録 令和4年度 第3回

会議概要	
日時	令和5年3月28日（火曜日）午後6時00分から午後7時30分まで
場所	東部まちづくりセンター コミュニティースペース
出席者	<p>委員（14名、正副会長以外は50音順）</p> <p>高嶋会長，石川副会長，石坂委員，宇野委員，大田委員，佐久間委員， 佐々木委員，佐藤委員，清野委員，瀧本委員，長谷委員，廣瀬委員，本間委員， 山本委員（欠席 溝口委員）</p> <p>オブザーバー</p> <p>堀川 地域まると支援員</p> <p>事務局</p> <p>地域まちづくり課 成田課長</p> <p>東部まちづくりセンター 鈴木所長，道下主査，立岩</p> <p>その他</p> <p>愛宕公民館 角谷館長</p>
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	1名
会議資料	<p>次第</p> <p>資料1 豊岡まちづくり推進プログラム（改訂案）</p> <p>資料2 愛あい（子どもの居場所）づくり事業チラシ</p> <p>資料3 地域ふれかつマップ作成事業資料</p> <p>資料4 豊岡消防団活性化事業 報告資料一式</p> <p>資料5 地域安全見守り事業 報告資料一式</p>

### 議事の内容

#### 1 開会

・開会し，事務局の司会で，新型コロナウイルス感染症対策を講じての会議開催である旨の説明，欠席者の報告があった。

## 2 協議事項

事務局より前回（令和4年度第2回）の会議の内容について説明があった。

《内容》

- ・豊岡まちづくり推進プログラムの改訂に向けた説明がなされた。
- ・今後のまちづくり体制の見直しについて旭川市から提案がなされ、前回の協議会中에서도提案に対する意見があった。本件について、令和5年度においても協議を進めていく。

### (1) 豊岡地域のまちづくりの検討と推進について

#### ア 豊岡まちづくり推進プログラムについて

資料1に基づき、豊岡まちづくり推進プログラムの改訂案に係る修正箇所について、事務局から説明があった。同時に、プログラムに基づき豊岡地域で実施された事業の状況等について、実行委員から報告・意見があった。各事業の主な報告内容は次のとおり。

【委員】

・除雪に係る担い手確保に向けた取組については、主任介護支援員交流会において、地域まると支援員も含め交流会を実施した際に、除雪で困っている高齢者世帯の状況について情報交換を行った。また、除雪支援を行ってきた龍谷高校の校舎移転後は、当初登録していた世帯に対し、代替として有償サービスの情報提供を行った。町内会等で除雪支援を行っているなど、除雪に関する情報があったら、ぜひ包括支援センターまで提供願いたい。

【委員】

・小中高各学校では、自分の進路を主体的に決定できるようにする目的で、「キャリア教育」を実施し、その学習の一つに「職場体験」を行ってきた。しかしコロナ禍により、実際の企業やお店での職場体験ができなくなった。そこで、光陽中学校区学校運営協議会に講師派遣の依頼した結果、あゆみ幼稚園、豊岡中央病院、高嶋建業、居酒屋サンジ、グループホームあさがお、E&E（IT関係）に講師に来ていただき、10月に職業講話を行う事ができた。生徒や先生方から、生徒が、地域でよく目にするお店や病院の関係者から話を聞いたことで、職業・仕事を身近に感じることができたという感想を聞いている。令和5年度は、中学校では職場体験、小学校では職業講話を実施しようと検討している。

【委員】

・令和3年度から道北勤医協病院の理事長から自分の病院施設を避難場所として活用し、それを含めた避難計画を作成できないだろうかという相談があった。これが発端となり、豊岡・東光・啓明3地区の地区社協・市民委員会・民児協・包括支援センターにも参加いただき活動している。

- ・3地区を合わせた人口はとても多いことから、現在はそれぞれの地区で準備を進め、同時に、互いに情報共有・情報交換を行いながら、よいところを習い活用していく方向。
- ・令和5年度については、民生委員にも声をかけながら、旭川市防災課が中心となり、地域防災研修会を開催する予定。

・個別の避難計画の作成については、防災課がまとめている避難行動要支援者名簿があり、豊岡地域では、牛朱別川流域の水害の可能性が高い地域にお住まいの方で支援が必要な方をピックアップしていこうかという検討を進めているところ。

【委員】

・9月2日において、朝の登校時の交通安全見守り活動及びあいさつ運動を実施した。今年度は学校運営協議会としてできる事を検討した。各市民委員会の防犯部が中心となり、教職員・PTAからの参加、地域安全見守り事業実行委員会からは交通安全グッズを一部借用、警察にも協力いただいた。

・持続可能な取組みとして、実施日と時間だけを決めて、あとはそれぞれの判断で自分の近隣地域において、見守り等を行っていただけるよう、人数も指定せずに実施した。

・令和5年度は、2学期の初日（8月21日）に実施できないかどうか検討中。

【委員】

・事務局から説明があった小学校通学路の橋や歩道の除雪・維持管理の件で、自分の息子が小学校通学中にPTAとして除雪等を市に要請した。現在は、市が要請する業者により除雪等が行われている。橋の規模については、地域の町内会長からは、車が通るようになったら返って事故の元となるので、現状（歩行者専用）で十分ではないかとの話があった。

【会長】

・除雪の件については、過去に意見をし、結果改善され現在も維持されているということなので、今後も見守り、除雪が不十分だったり危険な状態だった場合には市に対応を要請していきたい。

## イ 豊岡地域で実施される課題解決の取組について

資料2～資料5を使用し、実行委員から各事業の報告がある旨、事務局から説明があった。

【委員】

《豊岡まちづくりウォーキング事業》

・今年は、豊岡地域において東部まちづくりセンターを起点とし開催した。参加者は、一般13名、実行委員5名と少なめで、コロナ禍の関係もあり、大きな活動には結びつけられなかった。

・事業の振り返りでは、次回は心身に障害を持った方（軽度）でも可能な範囲で参加していただき、ウォーキングをしながら交流できないだろうかという意見もあった。

・地域の福祉施設にも要請しながら、日常的にいろいろな方と交流できるような事業として発展できればと感じている。

【委員】

《愛あい（子どもの居場所）づくり事業》

・愛宕公民館において活動が始まり、6年目を迎える。3ヶ月ごとに実行委員13名でアイデアを出し合いメニューを決めている。

・子ども達の健やかな成長や笑顔をみて、実行委員も生き生きしていた。

・地域の大人達や、旭川大学の学生にも協力いただき子ども達と交流した。

・毎月11日、ザ・ビッグアモール店で実施している「黄色いレシートキャンペーン」において

事業のレシートボックスを設置しているので、レシートの投函について御協力願いたい。

・事業実施に関わり多くの皆様に御協力をいただいた。令和5年度においても、子ども達の成長と笑顔に繋がる事業の継続を実行委員と協力しながら進めて参りたい。

#### 【委員】

##### 《地域ふれかつマップ作成事業》

・地域に在住する子どもや高齢者等が社会と関わり心身の健康維持に対する意識を向上させるため、住民が通い活動している施設やサロン事業などの情報を地域に提供することを目的とした事業。令和4年度は、2年前に作成した「あたごふれ活マップ」をリニューアルした。

・近隣住民の口コミや包括支援センターへの相談者、地域のケアマネジャー、民生委員、リハビリ体操指導士からの勧めで、住民の参加に繋がっている。

・完成したマップは、3月24日に、フリーペーパー「ライナー」に折り込み愛宕地区の約6,200世帯に配布し、早速問い合わせもきている。

・今後の活用としては、豊岡圏域内13ヶ所の居宅介護支援事業所所属の介護支援専門員による活用に向けての働きかけや、地域内の商業施設や公共施設への設置等により周知していく。

#### 【委員】

##### 《豊岡消防団活性化事業》

・地域住民や事業所等に対し、地域防災の啓発や消防団活動の周知により、防災意識の向上に寄与することを目的とした事業。東光地域の消防団と連携し令和2年度から継続して実施してきた。

・令和4年度は、消防団訓練大会が3年ぶりに開催され、大会に向けた練習の様子等を取材し動画や広報誌を作成した。広報誌は、町内会回覧等により周知し活用している。広報誌には、入団して間もない団員のインタビューを掲載するなど、将来的に消防団入団を期待する地域の皆様へのメッセージを盛り込んでいる。

・多くの住民や事業所が利用する旭川信金豊岡支店の協力により、広報誌等の展示ブースを設置していただくことができ、令和5年度に向けても、地域の支店（東光、東光東、あたご、東旭川）で実施予定。ポスターは地域内中学校校舎にも掲示していただいた。

・3年ほどの間に、第4分団では5人の新人団員が入団。事業の成果の1つであると感じている。

#### 【委員】

##### 《地域安全見守り事業》

・愛宕小学校・愛宕東小学校両校と連携し、実施日等を相談しながら、3回の登校時の見守りを行った（12月1日、1月13日、2月1日）。

・吹雪や寒冷の日にも関わらず、多くの地域の方に御協力いただけた。参加人数は、愛宕小校区は7名、愛宕東小校区は8名。

・児童の皆さんはよくあいさつをしてくれるし、普段なかなか見ることができない、登校時の子ども達の様子を肌で感じるができるよい機会だったと感じている。

・次年度の方向性としては、もう少し実施回数を増やせるよう、検討を進めていきたい。

#### 【会長】

・コロナ禍のいろいろな制約の中で活動されてきた。感染症の分類も変わり、これらの制約が緩

和されていくと事業の参加者の増加も期待していきたい。

・令和4年度の事業実施状況を踏まえ、令和5年度において優先的に実施する事業について検討に入るが、事務局から2月の意見照会の結果について説明願いたい。

【事務局】

《2月意見照会の結果》

- ・シニア世代の方に、正しいスマートフォンの使い方講習が必要。
- ・子どもの居場所について、各小学校区に設置し、広げてほしい。
- ・豊岡の魅力を共有できる催しを多くしてほしい。
- ・子ども達や地域のお年寄りが喜ぶような夏祭りを実施してはどうか。
- ・まち協の役割を地域で活動している組織の連携を実現するための下地づくりと考えてはどうか。
- ・令和4年度実施した事業については令和5年度においても継続してほしい（複数の委員が回答）

【委員】

- ・最近では、コロナの影響もあり、人との繋がりが薄れてきて、町内会の脱退者が増加傾向。
- ・今後、まち協関連の事業についても、できる限り率先して、事業を実施していくべきだと思う。

【会長】

・コロナ禍は、町内会長や市民委員会役員との交流がほとんど無い状況。以前、まち協関連事業として実施していた「豊岡まちフェスタ」も3年ほど中止しているが、コロナ禍が落ち着いて、再開を検討するにしても、町内会等それぞれの活動の推進状況を見ていかないと、なかなか再開は難しいと思う。

- ・令和5年度に実施する事業として御意見があればお願いしたい。

（委員からは特に意見等は無かった）

【会長】

・特に意見が無ければ、令和4年度に実施した事業を継続することを基本とし、追加事業の希望があれば、また皆さんで検討していきたいと思う。

## (2)その他

【事務局（事務連絡）】

- ・令和4年度 謝礼について
- ・次回協議会の日程について

会長からの要請があり、今年度をもって委員退任が予定されている廣瀬委員から挨拶があった。

## 3 閉会